

BSM-1120LT BSM-1320LT BSM-1520LT

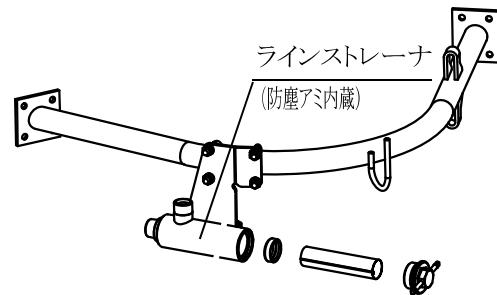
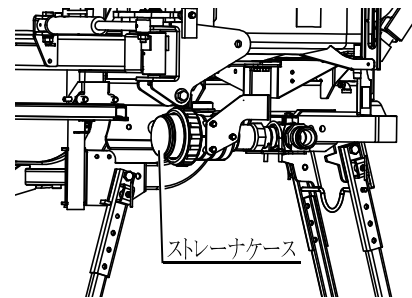
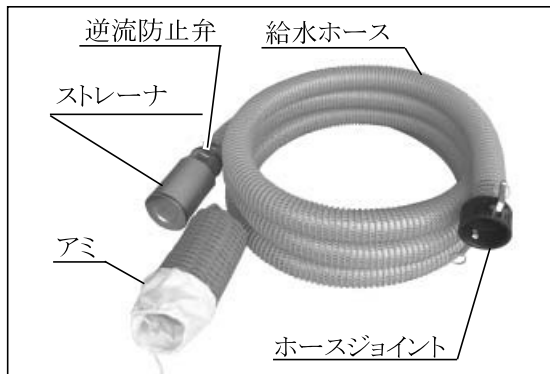
7. 作業前の点検

1. ボルト、ナット、ピン、ホース接続部等の締め付け部分を点検して下さい。もし、緩みがあれば増し締めして下さい。

●特に吸水関連ホースの接続部より空気を吸い込むと、吸水しなかったり、ポンプが異常音が発生したりするので注意して下さい。

2. 配管ホース類につまりや損傷等がないか点検して下さい。特に、サクシオン（吸入）ホースは、異常が発見し難いので入念に行ってください。

3. 給水ホース先のアミの内にあるストレーナ、薬液タンク横のケース内にあるストレーナを点検し、目詰まりがあれば清掃して下さい。



4. 噴霧ポンプのホースが電動コントロールユニットに接続される手前にラインストレーナがあります。使用前に必ず点検し、目詰まりがあれば清掃して下さい。

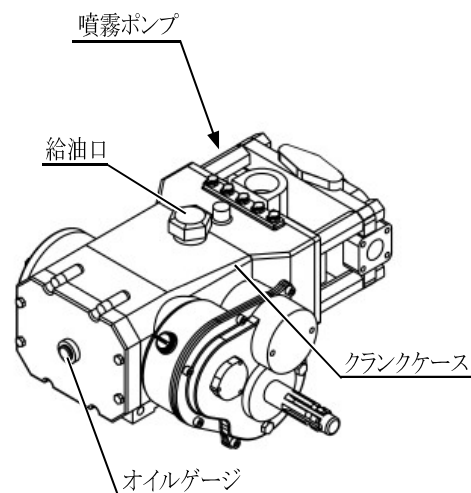
5. 噴霧ポンプのクランクケースにオイルゲージのレベル点までオイルが入っているか確認し、不足している場合は補充して下さい。

●標準オイル交換時間は、初回が 50 時間目 2 回目以降が 100 時間毎です。

●供給オイルは、エンジンオイル SC 級以上 SAE10W-30、供給量は約 2L です。

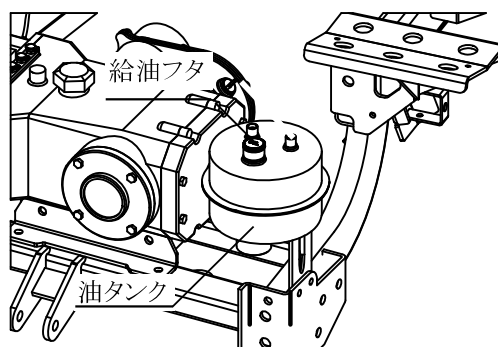
6. 機械左後に集中給油装置があります。ポンプ運転の際には、レバーを 1 回引きシリンダーに注油を行ってください。供給オイルは SC 級 SAE10W-30 です。

●ポンプ運転の際には、毎回必ず実施して下さい。



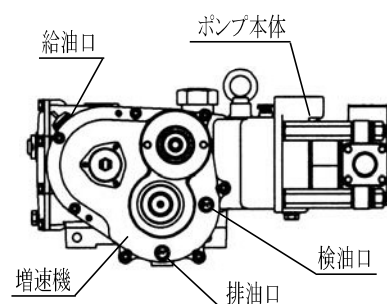
7. 油タンクの給油フタにレベルゲージが付いていますから、油量を確認し、不足している場合は補充して下さい。油量は給油フタを外して給油口に乘せた状態でレベルゲージのマークの10mm位上にくるようにして下さい。また、この油量確認は全ブームを格納した状態で行って下さい。

● 供油オイルは、作動油 AWH46、供給量は約 2.3 Lです。



8. 噴霧ポンプの増速機にオイルが規定量入っているか、また油漏れがないか確認して下さい。

検油口のレベルまでオイルが入っているのが正常です。オイルを交換する場合は、排油口・給油口・検油口を開けて、中のオイルを抜き取った後、排油口を閉じ、オイルジョッキ等で、検油口から溢れるまで給油口よりオイルを入れます。



● オイル交換は初回は50時間目、2回目以降は1シーズン(約100時間)毎に行って下さい。

● 供給オイルはギヤオイル# 90 相当、供給量は約 0.6 Lです。

9. ブーム関節部分のグリスニップル個所に適宜給脂して下さい。その他、回転摺動部にも、使用前に注油して下さい。

